

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年08月31日

計画の名称	大野市における人にやさしい道路環境の創出と災害に強い安全で安心なまちづくり（防災・安全）												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	大野市												
計画の目標	災害時の円滑な避難ルートを確認し安全で安心な社会基盤を確立するため、橋梁長寿命化修繕計画を策定した。これに基づく橋梁管理を行うことにより、事後的な橋梁補修から予防保全型の橋梁管理にシフトし、計画的かつ経済的な橋梁管理を実施する。 子どもや高齢者等が安全にかつ安心して利用できる歩行空間を確保するとともに、交通事故を減少させるため、歩道の整備や照明等の交通安全施設の整備充実を行うことにより、交通安全や生活環境の向上を図り、誰もが安全で安心して暮らせる地域づくりを推進する。 自転車の需要が高まる中、自転車通交空間の整備やそれに伴う利用者への交通安全における啓発、交通事故の減少を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	1,170	A	989	B	0	C	181	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	15.47	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	大野市内の交通事故件数をH20～H24平均の約676件から約10%減少させ、600件以下にする。 大野市内の交通事故件数について、着手前と実施後で比較する。 $(\text{評価時の交通事故件数} \div \text{実施前の交通事故件数} - 1) \times 100$	0%	-5%	-10%
2	橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁補修を行う。 橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁補修実施率を算出する。 $(\text{補修実施橋梁数} \div \text{橋梁長寿命化修繕計画上の補修橋梁数}) (\%)$	25%	54%	88%
3	交通安全の観点から、交通弱者支援として通学路の整備を行う。 通学路に指定されている未改良区間における市道の整備延長を算出する。 未改良区間における市道の整備延長	0m	500m	1000m

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	大野市	直接	大野市	市町村道	修繕	(1) 友兼蕨生線他16路線	橋梁補修 18橋	大野市						62		策定済
	A01-002	道路	一般	大野市	直接	大野市	市町村道	修繕	(1) 南新在家森目線他5路線	橋梁耐震 6橋	大野市						53		策定済
	A01-003	道路	一般	大野市	直接	大野市	市町村道	交安	(他) 南新在家上五条方自転車道線	自歩専用道路整備 L=9.0km	大野市						183		-
	A01-004	道路	一般	大野市	直接	大野市	市町村道	交安	(2) 新町陽明中線他1路線	通学路安全対策	大野市						3		-
	A01-005	道路	一般	大野市	直接	大野市	市町村道	交安	(1) 中挾美里線他6路線	自転車レーン整備 8路線L=3.4km	大野市						60		-
	A01-006	道路	一般	大野市	直接	大野市	市町村道	改築	(1) 三番市庁舎新庄線	簡易P 1式	大野市						278		-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H26	H27	H28	H29	H30					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
道路事業	A01-007	道路	一般	大野市	直接	大野市	市町村道	改築	(1) 大門花山線	踏切改良	大野市						86	-			
	A01-009	道路	一般	大野市	直接	大野市	市町村道	修繕	(2) 小矢戸県道赤根橋線 他3路線	斜面对策 4路線	大野市						6	-			
	A01-011	道路	一般	大野市	直接	大野市	市町村道	改築	(他) 下中野庄林線	道路拡幅 L=680m	大野市						79	-			
	A01-013	道路	一般	大野市	直接	大野市	市町村道	修繕	(1) 友兼蕨生線他280路 線	橋梁定期点検・長寿命化修繕 計画策定 456橋	大野市						40	-			
	A01-014	道路	一般	大野市	直接	大野市	市町村道	改築	(1) 城北・泉・鍬掛線	道路拡幅 L=180m	大野市						74	-			
	A01-015	道路	一般	大野市	直接	大野市	市町村道	改築	(2) 小矢戸県道赤根橋線	道路拡幅 L=784m	大野市						65	-			
											小計						989				

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計						989		



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
目標の達成状況やその要因を確認・とりまとめを行い事後評価を実施	令和2年度
	公表の方法
	市のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南新在家上五条方自転車道線および中挾美里線の整備により自転車利用者の利便性が向上した。</li> <li>・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、補修および点検を進めることで、道路ネットワークの安全性が向上した。</li> <li>・大門花山線、城北・泉・鍬掛線、新町陽明中線、小矢戸県道赤根橋線、下中野庄林線の道路改良により、利用者の安全性と快適性が向上した。これにより、歩行者が安心して利用できる歩行空間を確保し、交通事故を大きく減少させることができた。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	$(\text{評価時の交通事故件数} \div \text{実施前の交通事故件数} - 1) \times 100 (\%)$		
	最終目標値	-10%	道路拡幅や線形改良など計画していた事業を予定どおり進めることができたため
	最終実績値	-19%	
$(\text{補修実施橋梁数} \div \text{橋梁長寿命化修繕計画上の補修橋梁数}) (\%)$			
2	最終目標値	88%	橋梁補修を積極的に進めることができたため
	最終実績値	100%	
	未改良区間における市道の整備延長 (m)		
3	最終目標値	1000m	
	最終実績値	1014m	